

令和5年度 第12回 豊田市稲武地域会議全体会 会議録

日時：令和6年3月21日（木）午後7時00分～7時55分

場所：稲武支所 団体会議室

出席者

委員：安藤直人、石橋佳子、海野浩、大島年春、小木曾良弘、河合辰朗、土屋桂子、中拓二、長江倫常子、新美広高、松井克悟、松原尚矢、安江一眞、深見友和、櫻井麻紗子
(欠席者)：西尾昌直、三江元博、

事務局：杉山支所長、岡部副支所長、柄澤副主幹、鈴木担当長、安藤主査

(概要)

1 開会・豊田市民の誓い

2 会長あいさつ

3 松原市議あいさつ（欠席）

4 意見交換会

▶ 稲武地域会議を振り返り意見を述べる

- ・ 諮問答申内容が難しい内容であり、稲武のためになったのか疑問が残った。R6 は稲武地区のための地域会議を行っていききたい。
- ・ なかなか意見を言えなかった。もっと考えて意見を言いたかった。
- ・ 民生委員として意見を言いたかった。今後は、もっと子どもの事を考えて意見したい。
- ・ 答申ありきの地域会議になってしまった。思っていた地域会議と違ってしまったように思う。
- ・ 諮問答申も大切だが、稲武に直結した内容ではなかった。稲武のための答申なら、もっと話し合いができたと思う。
- ・ 諮問答申の内容が理解しきれずに終わってしまった。行政の手助けが必要であった。分かりやすい、意見の言える会にしたい。
- ・ 諮問答申が分からずに終わった。地域の困りごとに目を向けて話し合いを行いたい。
- ・ いろいろ勉強させていただいた。子どもたちのことをもっとリサーチして、意見を言いたい。
- ・ 地域会議も昔と変わった。市長副市長が来て地域の意見を聞いていただき、受け取ってもらったと思っている。地域の課題・要望を意見として言いたい。
- ・ 諮問は難しい問題であり、深く考えなければいけない内容であった。もっと、ポジティブに考えていききたい。
- ・ 2年前まで、予算を使い事業を行っていた。今年は答申を行うこととなり、内容がだいぶ変わってきた。
- ・ 思っていた地域会議と違っていた。今後は地域のために意見が言いたい。
- ・ 地域会議としてつくったもの、残ったものが無かった。子どもたちのこと、人口増、空き家利用等について考えていききたい。事業を行うことは大変。わくわく事業を応援していききたい。
- ・ 子育てについて考えていききたい。街づくりは都市部についての意見は多い。山間地の意見を取り入れてほしい。地域会議に各団体からの意見も出してほしい。

- ・諮問の内容が稲武とあまり関わりのない内容であった。豊田市の一員として意見が言えたと思う。稲武地域の事も協議していきたい。

5 その他 各委員からの連絡

▶（深見委員）稲武に定住促進委員が各自治区にいる。選任を依頼するが、当て職でなく、継続できる適任者を選任してほしい。移住希望者はたくさんいるが、空き家が無い。空き家発掘の協力をお願いする。

▶事務局より

- ・令和6年度地域会議委員を報告する
- ・令和6年度わくわく事業採択状況の報告をする
- ・4月18日（木）午後6時30分より、新任を対象に勉強会を開催する。

6 退任者にお礼状交付

▶支所長より退任者にお礼状を渡し、退任者より一言頂く。

以上

次回、令和6年4月18日（木）午後7時から